



©2012 「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会

## 第2編

### 第8次上市町総合計画

#### 基本計画

#### 【重点施策】



# 第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略 おおかみ子どもプロジェクト

©2012 W.C.F.P

第8次上市町総合計画において、都市から本町へひと・もの・しごとの流れを呼び込み、地域の活性化を図る地方創生\*の施策を基本計画の「重点施策」とし、第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけます。

## 1 地方創生の方針

上市町出身の細田守監督のアニメーション作品「おおかみ子どもの雨と雪」において、都会暮らしをしていた雨と雪の母親である花は、のびのびと子育てができる環境を求め、上市町がモデルとなっている地方の町に移り住みます。移住先の町から広々とした空き家を紹介してもらい地方での生活を始めた花は、地域の人に農業を教えてもらい、学芸員の仕事に就くなど、徐々に生活環境を充実させていきます。そして、雨と雪は、自然とのふれあいや人々との交流を通じて学びを深め、楽しいこと、つらいこと、様々な経験を積んでいくなかで、将来自分がどうなりたいかを見つけ、やがてそれぞれの道を進んでいきます。

第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、この「おおかみ子どもの雨と雪」で描かれた生活シーンを本町の目指すべき地方創生のイメージに位置づけ、**さらに町民の課題感を踏まえたうえで、**以下の3点を地方創生の方針とし、「おおかみ子どもプロジェクト」として戦略を推進します。

- （1）「子どもまんなか\*の支援と地域で活躍する人を育む（基本目標1 つながる上市）」**  
 「子育て家庭の不安や負担感を軽減し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目のない支援体制の整備や保育環境の充実を図ります。また、地域全体で子どもを育てる機運を醸成し、自然豊かな地域からの学びやICT\*を活用した教育、郷土への愛着を育む取組を通じて、子どもたちの健やかな成長と、これからの社会で活躍できる人づくりを推進します。」
- （2）「地域資源の魅力の内外への発信により地域の賑わいを創出する（基本目標2 にぎわう上市）」**  
 「上市町に「住みたい」「誇りを感じる」と思える豊かな自然環境を活かした魅力ある催事や特産品のブランディングを通じて、町内外の人を呼び込みまちの賑わいを創出するほか、産業の活性化、住まいと仕事の提供体制及びまちの基盤の充実に取り組みます。」
- （3）「みんなで守り、みんなで支えあう、安心・幸福な暮らし（基本目標3 ささえあう上市）」**  
 「みんなで地域の大切な資源を守り、支えあうことで、誰もが安心して暮らせる環境をつくり、住み慣れた地域でのつながりや温かな交流を大切に、みんなで支えあう活動を充実させることで、幸福を実感できるまちづくりに取り組みます。」

コメント 1 Coデザ

「おおかみ子どもの雨と雪」からのインスピレーションに加えて、住民アンケート結果を踏まえていることを表現しました。

コメント 2 Coデザ

基本的方向に新たに盛り込まれた「子どもまんなか社会」の理念を、方針タイトルにも反映しました。

コメント 3 Coデザ

「結婚」や「母子保健」など個別の制度名から、「切れ目のない支援体制」「保育環境の充実」など、より包括的な支援の方向性にシフトしているため、本文もそれに合わせて調整しました。

コメント 4 Coデザ

住民アンケートから「中心市街地の賑わい創出」は住民ニーズが高いことが判明しています。その手段として住民が誇りを感じ、活気を感じるイベント設計を行います。

コメント 5 Coデザ

町のブランディング、プロモーションについて、戦略方針がなく、事業にも一貫性がなくなりやすいため改善が必要と認識しました。催事の目的は町民が賑わいを感じるだけでなく、外部にもその魅力を発信し人を呼び込むことで移住のきっかけづくりにもつなげます。

コメント 6 Coデザ

「ぬくもり溢れる交流」という表現は、やや抽象的であり、現状の課題や住民の実感に即した表現へアップデートすることで、後期計画の方向性や住民の共感をより得やすくなるよう、修正しました。

コメント 7 Coデザ

タイトルの協働・連帯感を本文にも反映し、「みんなで」という主語で住民の参加意識を高めました。「安心・幸福な上市」というゴールに向け、守る・支える・交流・つながりを強調しています。この方針は、アンケート分析結果報告書や事業案で繰り返し示された住民参加・協働の重要性や、「みんなで」「支えあい」などのキーワード、協働・一体感を重視する方向性に基づいています。

## 2 上市町DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進ビジョン

コメント 8 Coデザ1/20  
新たに DX 推進ビジョンを追加

総合戦略

### (1) 要旨

DX\*推進ビジョンは、デジタル技術とデータを活用しながら「行政」「地域」「産業」の3つの側面から持続可能なまちづくりを加速させることを目的としており、おおかみこどもプロジェクトを支える分野横断的な基盤とすることで、デジタル化の恩恵を町民・事業者・行政が分かち合いながら、まち・ひと・しごと創生の好循環を生み出し、「暮らしやすい」「住み続けたい」「働きたい」と思われる町、時代に合った小さくても強く、しなやかな町を実現します。

### (2) 取組の方針

具体的には、次の3つを取組の方針とします。

#### ① 行政サービスと業務プロセスの変革

住民にとって分かりやすく使いやすい行政サービスを、時間や場所の制約を超えて提供できるよう、手続のオンライン化や業務の標準化・自動化を進めます。これにより、職員が住民に向き合う時間を確保し、より質の高い行政運営を実現します。

#### ② 地域コミュニティと暮らしの質の向上

デジタル技術を活用して、防災・防犯、福祉・医療、子育て、移動や買い物支援などの分野で、町民の「不安の解消」と「暮らしの利便性向上」を図ります。高齢者やデジタルに不慣れな人を置き去りにしない「誰一人取り残さないデジタル化」を貫き、地域のつながりを支えます。

#### ③ 地域産業・しごとの活性化と人材育成

町内事業者のデジタル活用や新たな働き方の導入を後押しし、産業競争力の強化と担い手確保につなげます。また、子どもから大人まで、デジタルリテラシーやICTスキルの向上を図ることで、「デジタルを使いこなす人材」が地域に根づく環境を整え、将来にわたって持続的に発展できる土台を築きます。

### (3) 重点取組事項

取組事項	取組方針 概要
① フロントヤード改革*の推進	住民との接点の多様化・充実化、データ対応の徹底、改革による人的・空間的リソースの最適配置により、フロントヤード改革を推進
② 情報システムの標準化・共通化	目標時期を令和8年11月とし、ガバメントクラウドの活用に向けた検討を踏まえ、基幹系18業務システムについて国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行

③ 公金収納における eL-QR の活用	公金収納の事務の効率化・合理化や、住民・民間事業者による公金納付の利便性を向上させる観点から、公金収納における eL-QR の取組を推進
④ マイナンバーカードの取得支援・利用の推進	マイナンバーカードの円滑な更新に向け、それぞれの住民のニーズに対応したカード取得に向けた環境整備を推進
⑤ セキュリティ対策の徹底	改定セキュリティポリシーガイドラインを踏まえ、適切にセキュリティポリシーの見直しを行い、セキュリティ対策を徹底
⑥ AI・RPA の利用推進	①、②による業務見直し等を契機に、AI*・RPA*導入ガイドブックを参考に、AI や RPA の導入・活用を推進
⑦ テレワーク*の促進	テレワーク導入事例やセキュリティポリシーガイドライン等を参考に、テレワークの導入・活用を促進

#### (4) 推進体制

副町長が最高情報統括責任者（C I O）となり、D X推進ビジョンの推進を統括します。

C I Oを補佐するD X統括を置き、D X統括直属の組織として庁内横断的な職員で構成するプロジェクトチームを編成し、D X推進に係る調査研究、企画立案及び庁内の連絡調整を行います。

C I O、D X統括、教育長及び庁内全課局の所属長で組織する上市町地方創生 S D G s \*推進本部において全庁的なD X推進の進捗状況を管理し、重点取組事項を着実に実行します。

※ 推進体制図を資料編に掲載しています。

#### (5) 進捗管理

重点取組事項について、計画期間（令和 8 年度から令和 12 年度まで）における工程表を作成し、その進捗状況を外部委員で組織する上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会へ報告します。同審議会での評価をもとに適時かつ柔軟に取組を改善し、P D C Aによる進捗管理を行います。

※ P D C A進捗管理イメージ図を資料編に掲載しています。

(6) 工程表

取組事項	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	目標時期
BPR <sup>※</sup> の取組の徹底 (①～⑦に共通する取組)	業務プロセスの可視化・課題の洗い出しと業務改善 ペーパーレスの推進					
① フロントヤード改革の推進	行政手続オンラインサービスの拡充 窓口DXの情報収集・導入検討					サービス実装・検証
② 情報システムの標準化・共通化	標準化 移行	標準標準システムの運用 国・地方デジタル共通基盤の共同利用に向けた取組の推進				令和8年11月標準標準システムへの移行完了
③ 公金収納におけるeL-QRの活用	システム 構築	公金収納システムの運用				令和9年4月から運用開始
④ マイナンバーカードの取得支援・利用の推進	取得・更新の支援 自治体における利用事業の情報収集・導入検討					サービス実装・検証
⑤ セキュリティ対策の徹底	自治体情報セキュリティポリシーガイドライン改定への対応					研修・監査
⑥ AI・RPAの利用促進	AI・ RPA運	標準標準システム対応のRPA運用 運用範囲拡充検討・導入				
⑦ テレワークの促進	テレワーク導入の支援					

### 3 戦略の体系

第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系図

コメント 9 Coデザ1/20  
DX 推進ビジョンを体系図に追加



## 4 具体的な施策

# 1

### つながる上市

幸せでわくわくの  
ミライへ“つながる”  
子育て・教育



©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会



#### 数値目標

出生数 54人(令和7年) ▶▶▶ 91人(令和12年)

### 基本的方向

人口減少や少子化、核家族化といった状況が進行しているなか、子育て家庭の不安や負担感を軽減するため、子どもまんなか社会の理念のもと切れ目ない支援体制の整備をはじめ、保育環境の充実や地域全体で子どもを育てる機運の醸成、ICTの活用による学びの支援、郷土への愛着を育む教育など、子どもたちの健やかな成長とミライへつながる人づくりを総合的に推進します。



こどもの城・クリスマス会

総合戦略

コメント 10 Coデザ  
人口ビジョンの改訂を踏まえて修正しました。

コメント 11 Coデザ  
総合計画骨子案。

## 重点施策

### ア 子どもから若者、子育て世帯までの切れ目のない支援による安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

〔子育て世帯への経済的支援や住宅支援、産前・産後ケアの充実、相談体制の強化、一時預かり事業などの保育環境の充実、きめ細やかな支援策を展開し、子育て家庭の不安や負担感の軽減を図ります。〕

#### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
〔子育て世帯の転入数 (0～6歳児を含む世帯)〕	29世帯	35世帯
出生数	54人	91人
〔子育て世帯向け住宅支援の 利用件数〕	90件 (R4～R6)	150件 (R8～R12)
〔産後ケア事業の利用率 (産婦のうち利用した割合)〕	40.1%	50%
〔子育てに悩みや不安をもつ 世帯等対応件数 (訪問での面談の件数)〕	53件	43件

#### 具体的な事業

- 結婚相談所の設置
- 病児・病後児\*保育の充実
- 不妊不育症治療支援
- 子育て世帯への経済的支援
- 民間保育所（園）等施設整備支援
- 地域子育て支援拠点への支援
- 子育て世帯向け「申請手続きのデジタル化・簡素化」推進事業
- 産前産後・育児期のプッシュ型情報発信事業
- 婚活\*イベントの開催
- 周産期\*等支援（産後ケア事業の拡充）
- こども家庭センター\*の推進
- 若年世帯の住宅取得支援
- 住宅リフォームの支援

コメント 12 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 13 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 14 Coデザ  
変更後の基本的方向-本文では「結婚支援」に関する記述が削除されており、代わりに「子育て世帯への支援」「保育環境の充実」「相談体制の強化」などが中心となっていることから、これに合わせて子育て世帯の転入数に変更しました。

コメント 15 Coデザ  
新築住宅の着工棟数よりも、より直接的に子育て世帯向けの住宅支援の成果を測る指標に変更しました。

コメント 16 Coデザ  
安心できる妊娠・出産環境の整備状況を測る指標として追加すべきと考えました。

コメント 17 Coデザ  
子育ての不安解消に関わる指標として追加しました。

コメント 18 Coデザ  
子育て支援の申請が煩雑との声、デジタル化要望の声があったため、子育て支援のデジタル化やホームページ等の充実化などを進める事業を追加しました。

コメント 19 Coデザ  
保育所が1か所閉鎖になったことや、相談体制強化・デジタル化要望の声があったため、相談機関等子育て支援サービスのプッシュ型の情報発信に努めます。

## イ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり

上市町の子どもをみんなで育てる機運を高め、**子どもの居場所づくり**として**児童館**、**放課後児童クラブ\***、**放課後子ども教室\***、**地域クラブ・地域の活動団体**等の多様な支援策を充実させていきます。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
放課後子ども教室延べ利用人数	13,664人	14,000人
放課後児童クラブ設置数	6か所	6か所
部活動終了後の受皿となる地域クラブ・地域の活動団体等への全生徒の参加率	25%	60%

### 具体的な事業

- 放課後児童クラブの推進
- ブックスタート\*
- 放課後子ども教室の推進
- **上市中学校部活動の地域展開**



海外とのオンライン学習

コメント 20 Coデザ

令和9年度末までに部活動を終了する町方針を固めたため、部活動に代わる受皿団体および各家庭への支援を一層強化していく必要があります。

※これまでは、下のウ（インクルーシブ教育）に配置されていましたが、上市町の全て子どもたち（小学生だけでなく中学生も含めた）放課後の子ども達の居場所および学びの機会の提供を一層支援していくため、イで計上します。

コメント 21 Coデザ

当初ウにあった「上市中学校課外活動応援プロジェクト」事業をイ（本項）に移動し、名称も「上市中学校部活動の地域展開」に変更しました。

## ウ 地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育\*の推進

個々の発達の度合に応じた学びを進め、基礎的な学力の定着を図るとともに、ICTを有効に活用することで、自ら考え学ぶ力を培い、地域の中で活躍できるしなやかで伸びしろのある子どもたちを育む教育を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
家庭での学習習慣	小学生 68%	小学生 70%
	中学生 49%	中学生 60%
中学生の自己有用感	79%	80%
中学生の学習への関心度	76%	80%

### 具体的な事業

- 学習支援ソフトの導入など、教育へのICT活用
- 発達相談・支援（ディスレクシア\*対応など）の充実
- 教育DX・ICT活用の「不登校支援・家庭学習サポート」事業



タブレットを使用した学習

## エ 郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティ\*を醸成する教育の推進

本町が持つ豊かな自然や歴史・文化を学び、郷土への誇りと愛着を育て、自己の確立を図るとともに、国際社会の中で自らを表現し、コミュニケーションがとれる子どもを育む教育を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
ふるさと町民学園の年間延べ参加者数	680人	700人

### 具体的な事業

- ふるさと学習の実施
- 学校給食「かみいちの日」の実施
- 外国語指導助手の配置・独自の外国語カリキュラムの作成
- 海外とのオンライン交流など、教育へのICT活用
- コミュニティスクール\*の推進
- ふるさと町民学園講座の実施
- 義務教育学校の整備とそれに向けた特色ある教育の構築
- LINE予約及びスマートロックシステム\*の運用

コメント 22 Coデザ1/20  
DX事業として追加



新米給食



ふるさと町民学園

# 2

## にぎわう上市

変化と継承への  
チャレンジで“にぎわう”  
産業・基盤



©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会



### 数値目標

人口の社会増減 △97人(令和7年) ▶▶▶ ±0人(令和12年)

コメント 23 Coデザ  
人口ビジョンを踏まえて修正しました。

### 基本的方向

人口が減少しても心豊かに過ごせる社会を目指し、地域資源を活用した魅力あるイベント開催とまちなか(中心市街地)のにぎわい創出や、情報発信による地元の魅力の認知向上、地域産業の担い手の誘致・育成、都市との交流を生む基盤整備など、上市町の特長を最大限に活かしながら、官民連携\*によるにぎわいと活力のあるまちづくりに向けた取組にチャレンジします。)

コメント 24 Coデザ  
総合計画骨子案。



大坪地域工業団地予定地

## 重点施策

### ア 上市らしさを活かした魅力あるイベントやまちなかのにぎわい創出へのチャレンジ

官民連携で上市町らしさを感じられるイベントを、特に頻度よりも目的や満足度を重視して開催するとともに、まちなか（中心市街地）の賑わいを創出します。また、地域活性化起業人\*や地域おこし協力隊\*など多様な人材の力を活用しながら、上市町ならではの魅力を活かした地域づくりを進め、交流人口\*拡大や地域のにぎわいづくりにつなげます。

#### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
まちなかの催事参加者数	21,550人	21,700人
中心市街地のにぎわいへの (住民満足度(アンケート調査))	4.2%	15%
(年間催事開催数)	4回	4回
(情報発信件数)	1回	4回
地域おこし協力隊委嘱者数	累計8人 (R3~R7)	累計9人 (R8~R12)

#### 具体的な事業

- 町民共創型の催事企画実行
- 現在実施されている催事の現況把握、棚卸
- スポーツ\*振興事業
- 地域と暮らしへのデジタル実装事業
- 地域活性化起業人事業
- 地域おこし協力隊事業
- 地域プロジェクトマネージャー\*事業
- 生成AI\*活用事業



カミノイチ

総合戦略

コメント 25 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 26 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 27 Coデザ  
賑わいがあるかは住民の主観に基づくものでもあるため、定性的な指標を図るために設定しました。

コメント 28 Coデザ  
催事の開催数が多ければそれだけ活気を感じる機会が増えるため設定しました。

コメント 29 Coデザ  
外部発信の定量的な指標として設定しました。

コメント 30 Coデザ  
中心市街地の賑わいを求める住民アンケート結果へのアンサーとして町に常時賑わいを創ることは現実路線ではないと割り切り、代わりに住民が参加し、内外に誇れる催事を開催し外部にも積極的に発信することにより、暮らしの中で賑わいを感じられる瞬間を作り上げるための事業を追加しました。

コメント 31 Coデザ  
様々な企画の催事が開催されていると思いますが、それらの成果把握や振り返り、必要に応じた統廃合により、より効果のあるものにリソースを集中するべきと考え、まずは現況把握、棚卸を継続的に実施します。

コメント 32 Coデザ1/20  
DX事業として表記修正

コメント 33 Coデザ1/20  
DX事業として追加

## イ 地域資源を活用した地元の魅力の認知向上へのチャレンジ

〔地元の特産品や観光資源を活用したプロモーション活動、SNS\*等を活用した情報発信を積極的に展開することで、住民による地元の魅力の認知向上とシビックプライド\*の醸成を推進します。〕

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
〔フォトロゲイニング*大会への町内、町外別参加者数〕	町内参加者：82人 町外参加者：330人	町内参加者：100人 町外参加者：400人
町の農林水産物を活用した商品開発数	8件	10件
戦略作物*作付面積	ねぎ 250.0 a	ねぎ 300.0 a
	さといも 940.0 a	さといも 1,100.0 a
戦略作物出荷数	ねぎ 20.2 t	ねぎ 25.0 t
	さといも 44.7 t	さといも 55.0 t

### 具体的な事業

- 町の農林水産物を活用した商品の開発、販路の拡大
- グリーンツーリズム\*事業
- フォトロゲイニング大会の開催
- 産地づくりの推進
- 畜産農家への家畜導入費助成
- エコツーリズムの推進
- 森林セラピー基地\*の活用
- 農産特産物の出荷奨励
- 広報DX事業



フォトロゲイニング® 上市まちのわ

コメント 34 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 35 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 36 Coデザ  
フォトロゲイニングも日玉催事の1つと考えます。そのため、町民の参加も重要であることから、県外参加者だけでなく町民参加者についても指標を設定しました（住民参加はプレイヤー側、運営側の双方あると想定）。

## ウ 担い手の誘致・育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ

地域おこし協力隊の活用や起業支援、生活支援体制の整備を進めるとともに、農業・地場産業に興味のある移住者向けの情報を発信し、地域産業の担い手となるチャレンジ意欲のある人材を地域に定着、次世代につながる育成環境を充実させ、持続的な活躍を促進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
50歳未満の新規就農者数	7人 (R3~R6)	10人 (R8~R12)
学校給食での地元食材利用率	14.3%	16.0%
創業件数	16件 (R3~R7 見込)	20件 (R8~R12)

### 具体的な事業

- 農業の新規担い手育成
- 起業支援



上市まちづくりシンポジウム

コメント 37 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 38 Coデザ  
総合計画骨子案。

総合戦略

## エ 都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりの チャレンジ

【上市スマートインターチェンジや鉄道などのインフラを、ひと・もの・しごとの流れを活性化する基盤ととらえ、関係する事業者・団体と連携しながら、デジタル環境の整備、移住・定住に向けた住居取得の支援、企業立地や公共交通機関の利用促進を図ります。】

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
【都市部事業者と連携した民間事業の創出件数】	1件 (R7)	3件 (R8~R12)
空き家の利活用数	16件 (R6)	75件 (R8~R12)
【町外からの企業進出に伴う企業立地助成金件数】	2件 (R3~R7)	3件 (R8~R12)
【カミールを中心とした300m半径の新規創案件数】	3店舗 (R3~R7)	8店舗 (R8~R12)
町営バス利用者数	45,149人	46,000人

### 具体的な事業

- 空き家の利活用推進
- 移住・定住の支援
- 民間住宅団地の造成誘致
- 町営バスの運行
- KAMIICHI チャレンジプロジェクト推進事業
- 都市部事業者とのマッチングツアーの実施
- 移住・定住の情報発信
- 企業立地助成金交付事業
- 公共交通機関の利用促進
- 奨学金の返済支援
- 人口減少対策プロジェクト
- スマホ役場\*事業



地域おこし協力隊・人口減少プロジェクト



かぼちゃ電車と剣岳

コメント 39 Coデザ

総合計画骨子案

コメント 40 Coデザ

2期戦略策定時から時代が変わり、サテライトオフィス誘致は地方活性化の1形態となり、現在はデジタル技術とリアルを活用した様々な事業展開が可能となっています。KAMIICHI チャレンジプロジェクトで求めているのは、『都市部事業者等との連携により町内経済等の活性化』を目指していることから、KPI 指標を変更します。

コメント 41 Coデザ

企業立地数には、これまで町内企業の増設に伴った企業立地助成金交付件数も含まれていました。次期総合戦略においては、町内企業の増設ももちろん必要ですが、大坪地域工業団地なども含めて、町外からの誘致について明確に戦略として打ち出す必要があります。

コメント 42 Coデザ

KAMIICHI チャレンジプロジェクトの「まちづくり」と連動して、まちなかエリアビジョンの作成と事業展開を進める中で、まちなかの賑わい創出を示す指標となりやすい商店数を指標とすることとしました。

コメント 43 Coデザ

KPI 指標の変更に伴い、事業内容を変更しました。

コメント 44 Coデザ1/20

DX 事業として追加

# 3

## ささえあう上市

守るべきものを守り、  
みんなで“ささえあう”  
安全・安心な暮らし



©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会



**数値目標**

平均自立期間*	男性 78.3 歳	女性 79.4 歳	(令和 7 年)
▶▶▶	男性 80.0 歳	女性 82.0 歳	(令和 12 年)

### 基本的方向

町民一人ひとりが心豊かで充実した生活を実現できるよう、災害の不安を軽減する取組や、地域福祉の推進と健康づくり活動の支援、地域に欠かせない生活インフラの維持として、かみいち総合病院や上市高校に重点を置いた取組など、ささえあいで安全・安心な暮らしの環境づくりを推進します。



介護予防事業

## 重点施策

### ア 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る

地域ぐるみの防災・減災の取組として、自主防災組織の活動を支援し、災害時用の備蓄を進めるとともに、気象災害のリスクを低減するためのカーボンニュートラル\*、脱炭素社会\*の実現に向けた取組を推進します。また、防犯や交通事故といったリスクに対し、設備の設置、啓発活動、教育の機会の創出などの対策を行い、安全・安心な暮らしを守ります。そのほか、廃校を活用し、人が集まり交流が生まれる地域の拠点づくりを進めていきます。

#### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
〔自主防災組織の活動率（町内の自主防災組織のうち、年1回以上活動を実施した組織の割合）〕	25.5%	30%
交通事故による死者数	1人	0人

コメント 45 Coデザ

活動率を指標とすることで、組織全体の防災力や地域ぐるみの取組状況をより的確に評価できるようになると考えました。

#### 具体的な事業

- 自主防災組織への支援
- 災害時用の備蓄品整備
- 防犯灯の設置助成
- 交通指導員等への活動助成
- カーボンニュートラルの推進
- 廃校利活用プロジェクト
- 防災訓練の実施
- 避難施設災害時電源設備の整備
- 交通安全教室の開催支援
- 防犯・交通安全の啓発
- おおかみこどもの森づくりプロジェクト

## イ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る

健康寿命の延伸に向けて、がん対策や心の健康、感染症予防等、土台となる心身の健康づくり活動の促進を図ります。また、フレイル\*予防に対する意識の醸成を図る啓発活動や医療・介護の連携体制の強化を推進し、健康で安心できる暮らしへの環境づくりにつなげます。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
特定健診受診率	35.4%	60%
がん検診精密検査受診率	胃がん	全項目 90.0%以上
	男性 100%	
	女性 93.3%	
	大腸がん	
	男性 78.8%	
	女性 89.6%	
	肺がん	
	男性 90.0%	
女性 85.7%		
子宮がん	100%	
乳がん	97.2%	
(R3)		

### 具体的な事業

- 高齢者福祉サービスの充実
- 在宅医療と介護の連携
- 健康づくりの推進
- 感染症の予防
- 自殺対策
- 障害者自立支援
- 特定健診、特定保健指導
- がん対策（検診・普及啓発）
- 健康増進（健康教育、相談・訪問指導・健診等）
- 骨粗しょう症ゼロ事業



DEXA法\*による骨粗しょう症検査

総合戦略

コメント 46 Coデザ  
総合計画骨子案。

コメント 47 Coデザ  
がん検診については、職域がん検診の数値等の把握が困難なため、精密検査受診率の向上を評価指標としました。

## ウ かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る

### 【がんばるかみいち総合病院応援プロジェクト】

本町と周辺町村の医療拠点であるかみいち総合病院を守るため、**地域住民の理解と関心を高める情報発信を行うとともに**、病院ボランティア等での町民の参加や医療従事者への応援、医療環境の充実などの取組を地域ぐるみで進めていきます。

#### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
がんばるかみいち総合病院 応援寄附件数	90件	470件 (R8～R12)
新卒看護師離職率	0%	0%

#### 具体的な事業

- がんばるかみいち総合病院応援寄附金の啓発
- **看護職のキャリア形成・定着支援**
- 認定看護師\*等による出前講座の開催
- コミュニティ・ホスピタル\*事業
- **次期電子カルテ\*システム更新**
- 医療従事者の研修助成
- 医療器械購入支援
- **遠隔読影による画像診断**
- **遠隔診療**



かみいち総合病院

コメント 48 Coデザ  
 今後は看護職のキャリア形成や定着支援に重点を置いた新規・継続事業に転換する必要があると考えました。

コメント 49 Coデザ1/20  
 DX 事業として追加

コメント 50 Coデザ1/20  
 DX 事業として追加

コメント 51 Coデザ1/20  
 DX 事業として追加

## エ 地域と密着した活動で上市高校のミライを守る

### 【上市高校地域密着型活動推進プロジェクト】

高校は、地域の学びの場だけでなく、地方創生の場でもあります。この認識のもと、行政、まちづくり団体\*、事業所が連携し、町内事業所での職場体験やIoT\*等未来技術にふれる機会、まちづくりを考える機会の創出など、上市高校と地域社会が密着した活動を推進します。

#### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
町内事業所でのインターンシップ*参加割合	30.4%	40.0%
上市高校キャリア教育*を卒業後の進路選択に役立てた生徒の割合	89.4%	90.0%
上市高校のキャリア教育によって町内の企業や事業所に就職したいと思った生徒の割合	48.2%	50.0%

#### 具体的な事業

- 町内事業所での職場見学
- キャリバイト
- スマホサポーター養成支援
- 職業を知る会
- 公民館スマホ教室



職業を知る会



キャリバイト



上市高校生の職場見学

コメント 52 Coデザ1/20  
職場体験→職場見学に修正

コメント 53 Coデザ1/20  
町内事業所説明会開催→職業を知る会に修正

コメント 54 Coデザ1/20  
DX 事業として追加

コメント 55 Coデザ1/20  
DX 事業として追加

※参考：国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」

第8次上市町総合計画の各個別施策、**第3期**上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各重点施策には、施策を推進することで達成に寄与するSDGsの目標を示すアイコンをつけています。

<p><b>1 貧困をなくそう</b></p>	<p><b>1 貧困をなくそう</b> あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p><b>10 人や国の不平等をなくそう</b></p>	<p><b>10 人や国の不平等をなくそう</b> 各国内及び各国間の不平等を是正する</p>
<p><b>2 飢餓をゼロに</b></p>	<p><b>2 飢餓をゼロに</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p><b>11 住み続けられるまちづくりを</b></p>	<p><b>11 住み続けられるまちづくりを</b> 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>
<p><b>3 すべての人に健康と福祉を</b></p>	<p><b>3 すべての人に健康と福祉を</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p><b>12 つくる責任つかう責任</b></p>	<p><b>12 つくる責任つかう責任</b> 持続可能な生産消費形態を確保する</p>
<p><b>4 質の高い教育をみんなに</b></p>	<p><b>4 質の高い教育をみんなに</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する</p>	<p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b></p>	<p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
<p><b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b></p>	<p><b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>	<p><b>14 海の豊かさを守ろう</b></p>	<p><b>14 海の豊かさを守ろう</b> 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
<p><b>6 安全な水とトイレを世界中に</b></p>	<p><b>6 安全な水とトイレを世界中に</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<p><b>15 陸の豊かさを守ろう</b></p>	<p><b>15 陸の豊かさを守ろう</b> 陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
<p><b>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b></p>	<p><b>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p><b>16 平和と公正をすべての人に</b></p>	<p><b>16 平和と公正をすべての人に</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
<p><b>8 働きがいも経済成長も</b></p>	<p><b>8 働きがいも経済成長も</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する</p>	<p><b>17 パートナリシップで目標を達成しよう</b></p>	<p><b>17 パートナリシップで目標を達成しよう</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
<p><b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b></p>	<p><b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p><b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b></p>	

コメント 56 CoDeザ  
第3期に変更しました。